

オアシス21

[2020] 令和2年3月

特別号

CONTENTS

シニアカレッジ特集

(2～9面)

- 令和2年度入学生募集
- 実践講座講師に聞く

ねんりんピック特集

(12～15面)

- 今年の大会会場は岐阜
- 最近3年間の熱闘軌跡



石上和夫学長から卒業生一人一人に
修了証書を手渡す



河田瑠子副学長による講話



講師の長谷川義明さんによる講話「良寛さんに学ぶ」



実践講座「暮らしと環境食育コース」実習



同窓会研修旅行で世界遺産・富岡製糸場を見学

令和2年度受講生募集

講義内容もさらに充実

シニアカレッジ新潟（石上和男学長、事務局・新潟県社会福祉協議会）では、令和2年度受講生を募集しています。生涯学習に熱い思いを抱き、社会参加意欲にあふれる方々をお待ちしています。新年度は、多発する自然災害からの身の守り方などを考える実践講座「家庭の防災・地域の防災再考コース」を新たに設けるなど、講義内容を一層充実させています。締め切りは4月3日（金）です。

実践講座「防災コース」を新設

同カレッジは、県内在住の概ね60歳以上を対象とした基礎・応用課程の「2年制大学」です。幅広い知識

を身に付け、仲間をつくり、地域活動の担い手を養成することを目指しています。

講義は、シニア世代に関



石上学長による最終講義（令和元年度）

心の高い健康問題から法律、社会福祉、地域づくりと多彩です。講師陣は、さまざまな分野の第一線で活躍中の方々です。教室は新潟市と長岡市、上越市に設け、身近な所で楽しく質の高い講義を受けることができます。



好評の1年次講義「気軽にできる健康体操」（平成30年度）

さらに、関心の高いテーマを取り上げ、短期間に少人数で深く掘り下げて学ぶ「実践講座」を、新年度は3つのコースを用意しています。新潟を訪れた外国人観



初心者を対象とした実践講座「まちかどふれ愛英会話コース」（平成29年度）

光客に新潟の魅力を伝える会話力習得を目指す、毎年好評の「まちかどふれ愛英会話コース」をはじめ、毎日の生活に役立つと評判の「暮らしと環境食育コース」、新設の「家庭の防災・地域の防災再考コース」です。

「英会話コース」は4年目を迎え、「食育コース」は生産者の声を直接聞くとともに、新潟の地産地消や取り巻く環境も学ぶ機会となります。さらに、新たな「防災コース」は、台風や地震

などの災害に直面したときに慌てずに対応できるよう、日ごろからの備えや対応を考えます。

シニアカレッジ新潟は、平成元（1989）年に新潟県高齢者大学としてスタート、平成30（2018）年の30周年の節目に改称し再出発しました。延べ9300人余りの卒業生を送り出しています。複数回入学される方もおり、80歳、90歳を超えて、なお学ぼうという方もいます。卒業式で石上学長から修了証書を受け取る笑顔は自信に満ちあふれています。絆を大切に卒業後の同窓会活動も活発です。

開学当初発行していた卒業記念文集「きずな」には、「勉強になったと同時に、たくさん仲間と知り合うことができたのは、この上ない幸せ」など生涯学習への喜び・感想がこぼれ出ています。

令和2年度シニアカレッジ新潟 募集要項

1 講座の種類と会場（ ）内は募集人員

○基礎応用課程（2年間）

- ・新潟会場（2クラス各60人）……………新潟ユニゾンプラザ（新潟市中央区上所）
- ・長岡会場（50人）……………アトリウム長岡（長岡市弓町）
- ・上越会場（30人）……………高陽荘（上越市西城町）

○実践講座（短期）

- ・家庭の防災・地域の防災再考コース（新潟ユニゾンプラザ）
定員30人 8月24日、同31日、9月7日 各13:00～16:00
- ・まちかどふれ愛英会話コース（アトリウム長岡）
定員30人 6月12日、同19日、7月10日、同17日 各13:00～16:00
- ・暮らしと環境食育コース（上越市市民プラザ）
定員30人 6月5日、同8日、同15日 1日目13:00～16:00、2・3日目10:00～14:00

2 開講期間

5月から10月（2年次は4月から）

3 受講料

○基礎応用課程……6,600円（年額） ○実践講座……各3,300円

4 基礎応用課程（2年間）の主な講座

1年次	2年次（予定）
身近な法律問題	高齢者と税金
いまニイガタで世界遺産を考える	暮らしのための整理整頓術
人に好かれる話し方・聴き方	賢い消費者
交通事故防止と地域安全活動	新潟県の歴史
他国の文化にふれる	良寛さまに学ぶ
音楽の力	地球温暖化
薬と健康	健康づくりと食物
気軽にできる健康体操	お口の健康から元気で長生き
社会・人のつながりと健康長寿	認知症・転倒予防
救命救急の基礎	ストレス予防と対策
社会福祉サービスの基礎	成年後見制度と日常生活自立支援事業
介護の基本と認知症	障害者雇用
自己表現と関係づくり	自然災害と自助力・共助力
シニアライフを楽しむための コミュニケーションのレッスン	実践者から学ぶ地域福祉
身近な子育て・子育て支援	目の健康維持の秘訣
生きがい探しと地域づくり	話してみよう、私たちの地域活動
特別講義	

5 入学案内・申込用紙

入学案内・申込用紙を希望の方は、84円切手を貼付した返信用封筒（長型3号12×23.5cm）に、郵便番号・住所・氏名を記入の上、下記「問い合わせ先」に請求ください。公民館、市町村の役場・社会福祉協議会、図書館でも入学案内を配布しています。また、シニアカレッジ新潟のホームページからも申し込みできます。

<http://www.fukushiniigata.or.jp/koureisha/>

シニアカレッジ新潟 

6 問い合わせ

シニアカレッジ新潟事務局（新潟県社会福祉協議会 地域福祉課）

〒950-8575 新潟市中央区上所 2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3階

☎ 025-285-1400

新規
開設

家庭の防災・地域の防災再考コース



講義内容 災害に直面した時も慌てずに対応できるように、普段から家庭や地域でできる災害への備えや災害時の対応について学ぶ。

日 時 8月24日(月)・8月31日(月)・9月7日(月)
各13:00～16:00

定 員 30人 **会 場** 新潟ユニゾンプラザ(新潟市中央区)

講 師 中越防災安全推進機構



「備えたつもり」ではなく 本当に役立つ防災対策を基礎から学ぼう！

近年相次ぐ自然災害。昨年秋に到来した大型台風は、千葉県を中心に広範囲に渡って大きな被害をもたらしました。新潟県も各地で被災し、中越地震の体験や教訓を思い起こした方も多かったでしょう。今、求められているのは実践力です。改めて防災を学ぶ講座がスタートします。



講師

中越防災安全推進機構
地域防災力センター長

諸橋 和行さん



▲シニアカレッジの「防災講座」の様子

「水や懐中電灯などを用意して、なんとなく安心していませんか？」と話す中越防災安全推進機構の諸橋和行さん。災害に関して知っているつもり、備えたつもりでは、いざ災害に直面した時に身を守れないといえます。今回の講座は防災の専門家向けの講座より、一般の方が取り組みやすい内容でありながら、命を守る判断力や行動力になる正しい知識を基礎から学び、避難所設営などの体験ワークもを行います。

防災の基本は
自分が住んでいる
地域を知ること

《第二回》防災の基礎

住んでいる地域の地形や土地の特性を知ることが、備えの第一歩です。まずは身の回りでのどんな災害が起こり得るか、ハザードマップを読み取ります。「津波がきたら、どこに逃げればいいのか?」「100年に一度ついでのこと?」など、受講生同士で深め合うことで気づくことがたくさんありそうです。

備蓄の仕方も見直します。「漠然と備えるのではなく、すぐに持ち出して逃げる時の物品と、家庭で避難生活を送るための物品を分けて考えましょう」と諸橋さん。優先して持ち出すものは何か。目的を明確にして選びます。

《第二回》地域の防災

安全に逃げる方法に正解はありません。避難するべきか否か。緊急時に最善策は何かを考える力が求められます。地震や水害など、災害によって避難の仕方はどう異

講座の流れ

第1回 防災の基礎

1-1 ガイダンス

- ・自己紹介
- ・コースの趣旨・流れ
- ・防災とは

1-2 地域を知る

- ・ハザードマップ
- ・防災マップ

1-3 自分・家庭の備え

- ・きおくみらいのパフレット
- ・非常用持ち出し袋
- ・家庭の備蓄

第2回 地域の防災

2-1 地震

- ・発生リスク
- ・地震の被害
- ・地震対策

2-2 水害

- ・情報
- ・避難

2-3 その他の災害

- ・津波災害
- ・土砂災害
- ・原子力災害

第3回 災害発生後の対応

3-1 避難所

- ・避難所運営
- ・サスケナブル

3-2 災害ボランティア

- ・ボランティアの力
- ・受援力
- ・災害ボランティアに行く

3-3 より良く生きるための防災へ

- ・防災の意味づけを考える
- ・振り返り



▲何をどれくらい備蓄するか。家族構成や用途に合わせ見直そう

備蓄品リストを活用しよう

(中越防災安全推進機構作成)

なるのでしょうか。何を手掛かりに判断するかを学びましょう。

よりよく生きる防災へ

日本の防災を支える

シニア世代に期待

《第三回》災害発生後の対応

「平日の日中に災害が発生した場合、若い世代は仕事で出かけていません。防災の担い手として期待されているのがシニア世代です」と諸橋さん。「豊富な人生経験と、日頃から地域活動などで培われた近所づきあいは、非常時に必ず役立ちます。災害ボランティアとして各地で活躍している方もおら



▲長岡震災アーカイブセンターきおくみらいの展示

れますね」。東日本大震災で福島県内の教訓を生かした避難所運営のための考え方「サスケナブル」も学びます。

高齢者は災害発生時よりも、避難所の生活など二次災害の被害で

亡くなる方が圧倒的に多いそうです。「まずは自分の身の安全を守り、できる範囲で地域の人々を手助けする知識と技術をこの講座で身につけてほしいです」と話す諸橋さん。何のために防災をするのかを考えた時、日々の暮らしを見つめ直すことに繋がります。生き方も問う奥深い内容になりそうです。

仮設トイレや段ボールベッドなども講座で組み立ててみよう



まちかどふれ愛英会話コース

講義内容 英会話初心者を対象に、簡単な英語表現や発音などを気軽に楽しく学ぶ。今年にはオリンピック、パラリンピックが開催されることなどで、新潟にも多くの外国人観光客が訪れることから、「新潟」の魅力を伝える実践英会話コース

日時 6月12日(金)・19日(金)・7月10日(金)・17日(金)
各13:00～16:00

定員 30人 **会場** アトリウム長岡(長岡市弓町)

講師 新潟国際情報大学 国際学部 佐藤 泰子



注目!
実践講座
ズームアップ



学ぶだけでなく使ってみよう ボランティアガイドに挑戦

オリンピック・パラリンピックが間近に迫ってきました。簡単な英会話を学んで、新潟を訪れる外国人観光客をご案内しませんか。大切なのは上手く話すことより、おもてなしの心を持つこと。受講生同士や留学生と対話しながら、アクティブに学ぶ初級者向けの講座です。



講師

新潟国際情報大学
国際学部

佐藤 泰子さん



▲「Everyone stand up!」と声をかけ、案内する時と同じように立って歩いて会話を練習。

まちかどふれ愛英会話コースは2016年に開講。外国に興味のある方、お孫さんと英会話を楽しみたいという方など受講生の動機はさまざまで、リピーターも多いです。人気の理由の一つは教室で学ぶだけでなく、実際にまちに出て英語を使う機会につながることに。修了生の中には、英語で観光案内するボランティアガイドとしてデビューしている方も大勢いて、英語で交流する楽しさが学べます。

笑顔は世界共通
言葉を超えた
おもてなしを学ぶ

「新潟には魅力的な宝物がいっぱいあります。せっかく外国の方が訪れても、誰かが案内しなければその良さが伝わりません」と話す新潟国際情報大学講師の佐藤泰子さん。ペラペラと話せなくても大丈夫。片言の英語で交流を楽しむ気持ちで挑戦してみてください。

《第一・二回》挨拶・おもてなし

「まずは笑顔で、相手の目を見て挨拶しましょう。丁寧に敬意を払う姿勢を伝えます」と佐藤さん。文化や風習の違いも心得ておきましょう。日本人はなんでも「すみません」ですが、「Thank you」の方が通じる場面はたくさんあります。

英語で話すことに必死になりがちですが、おもてなしの心を忘れずに。「目線や表情からも相手の気持ちが読み取れますよ」。居心地の良さを生み出すちょっとした声かけのコツなど、おもてなしの奥深さを学びましょう。

講座の流れ

第1回

- ・挨拶・自己紹介
- ・英会話のウォーミングアップ

第2回

- ・「おもてなし」とは?
- ・通訳ガイドとしての心構え・マナー
- ・文化・風習の違いの基礎知識を学ぶ

第3回

- ・インバウンド観光案内所の接客英語必須フレーズ
- ・参加者同士で対話トレーニング

第4回

- ・県内の大学留学生と英会話を楽しもう



▲ 第4回は留学生がゲストに。グループの会話も弾む。



▲ 昨年、受講生有志の皆さんと外国人乗客をガイドした際に使用した案内map(左)と、まちあるき企画をした時の案内チラシ



口も体も動かそう
失敗を恐れずに
やってみるのが一番

《第三・四回》

接客英語・留学生と会話

接客英語の文例を、実際に観光客を案内している気持ちで練習します。「お互いに自分が住んでいる地域の名産品や名所を案内してもらいます。お土産の実物や地図を持ってくる受講生もいますよ」。よく知っているはずなのに、英語で何といえばいいのやら…。頭を悩ませるのも楽しいひと時です。

講座の最終回は、新潟県内の留学生をゲストに招き、各グループに1人ずつ入ってもらって会話を

楽しみます。日常会話に英語を使っていて人の発音や表現から、教科書とは違うリアルな学びが体験できます。4回の講座を経て、手応えを感じたらボランティアガイドをしている現場に足を運んでみましょう。きっと世界が広がります。

新潟東港に寄港したクルーズ船乗客を英語でご案内

シャトルバスの添乗や市内観光のガイドを務めます。英語が通じると嬉しい!



多彩な講師陣 基礎応用課程1年次・2年次

一 他国の文化、歴史に興味津々

シニアカレッジ新潟では、個別の講義について受講生の方々に、満足度や理解度のアンケート調査を行っています。元年度の結果を紹介します。

1年次講義の満足度トップ5は①気軽にできる健康体操（総合フィットネストレーナー・城元剛）②他国の文化にふれる・モンゴル

（新潟県国際課国際交流員・フレルバータル・インドラ）③人に好かれる話し方聴き方（WIT代表取締役・瀬賀孝子）④薬と健康―薬の知識と上手



1年次「縁満ライフのすすめ～親子・夫婦・地域をつなぐ～」

な使い方―（前新潟薬科大学薬学部教授・影向範昭）⑤縁満ライフのすすめ―親子・夫婦・他域をつな

ぐ（新潟経営大学経営情報学部教授・中島純）でした。

理解度トップ5は①他国の文化にふれる②気軽にできる健康体操③交通事故の防止と地域の安全活動の実

際（新潟県警察本部）④縁満ライフのすすめ⑤人に好かれる話し方聴き方という結果でした。



1年次「気軽にできる健康体操」

2年度も開講の予定です。

一 関心高い目の健康維持

2年次では、満足度トップ5は①認知症・転倒予防と健康づくり②ストレッチ

と健康づくり③ストレッチングと簡単筋トレを生活に取り入れて（医学博士・高橋一栄）④目の健康維持の秘訣―輝く視界をいつまでも！（新潟医療福祉大

学医療技術学部講師・村田憲章）③高齢者のストレス予防と対策（上越教育大学名誉教授・得丸定子）④お口の健康から元気で長生き（新潟大学大学院歯学総合研究科教授・藤原明弘）⑤自然災害と自助力・共助



2年次「実践者から学ぶ地域福祉と協働」

「生活スタイルや豊かな自然はとても興味深かった」「歴史―文化まで大変良く

力（中越防災安全推進機構地域防災力センターマネジャー・河内毅）でした。

理解度では、①認知症・転倒予防と健康づくり②実践者から学ぶ地域福祉と協働（シニアカレッジ新潟副学長、支え合いの仕組みづくりアドバイザー・河田珪子）②目の健康維持の秘訣

③心地いい暮らしのための整理整頓術―これからどう生きるか―（マスターライフオーガナイザー・大滝愛弓）③お口の健康から元気で長生き―がトップ5とな



2年次「私たちの地域活動・ボランティア活動」

「生活スタイルや豊かな自然はとても興味深かった」「歴史―文化まで大変良く

りました。

満足度、理解度共に2位となった「目の健康維持の秘訣」は、アクティブな日常生活を支えるための視覚の健康を維持する方法を学

ぶ、これも新設の講義です。アンケートでは「白内障、緑内障がよく分かった」「スライドを多用してくれて分

かりやすかった」「資料も適切だった」といった声が挙げられていました。また、「認知症・転倒予防と健康づくり」は前年も満足度1位、理解度2位でした。



2年次「成年後見制度と日常生活自立支援事業」

活発な同窓会事業

仲間との絆深め、毎年研修旅行

活発な同窓会事業は平成25(2013)年度に始まり、毎年、同窓会企画員を中心に計画した1泊研修旅行などで絆と学びをさらに深めています。併せて旅行に先立ち、研修会が開かれ、講演会や卒業後の活動報告も每回行われています。

近年の同窓会事業を振り返りますと、平成29年度は「山古志の復興と群馬世界遺産の旅」テーマに中越地震からの復興を学び、日本の近代化に向けた歴史の舞台の一端に触れました。

研修旅行は、時折小雨が降る10月19、20の両日に行



製造ラインがそのまま残されている世界遺産・富岡製糸場見学(群馬県富岡市)



日本列島誕生の鼓動を触って体感(糸魚川市・フォッサマグナミュージアム)



信濃川クルーズで新潟港の歴史の一端を体感(新潟市中央区)

われ、45人が参加し、盛りだくさんなバスの旅。初日は、最大震度7の地震で大きな被害を受け全村避難を余儀なくされた長岡市山古志地区(旧山古志村)。復興の歩みなどがパネル類で展示されている「やまこし復興交流館おらたる」で解説を聞いた後、ボランティアガイドらの案内で、土砂に埋まったままの家屋が残る木籠集落も訪ね、橋の上からダム湖のようになった当時に思いをはせていました。

2日目は、平成26年に世界遺産に登録された群馬県

の富岡製糸場の見学です。明治政府が日本の近代化へ向けて設立した模範器械製糸場。レンガ造りの外観や長さ140メートルの繰糸場や生糸の品質向上を目指した姿などがそのまま残されています。

平成30年度は時折雨粒が顔に当たる10月11、12の両日に上越市と糸魚川市に出かけました。「上越・糸魚川の古代から現代を巡る旅」がテーマで41人が参加しました。まず、平成26年5月に総合運転を開始した上越市八千浦の中部電力上越火

力発電所を訪問しました。総出力2338万kwを誇り、長野県の電力需要ピーク時の7割を賄える能力があるそうです。続いて、同年7月に歴史博物館として再生された上越市歴史博物館を見学。「越後の都」として栄えた時代から現代までの上越市の暮らしと息吹を感じ取りました。

2日目は、世界ジオパークのまち糸魚川市でフォッサマグナミュージアムへ。4・5トンのヒスイの原石や日本列島誕生の鼓動を感じる展示品の数々を見て回り、フォッサマグナの成り立ちを大型画面で体感していただきました。同年6月にリニューアルオープンした上越



卒業生による活動報告(新潟市・ジョイアス新潟)

市立水族博物館「うみがたり」も見学しました。旅行に先立ち、上越市民プラザで研修会が行われ、「より良き同窓会」をテーマにグループワーク。各グループの意見から導き出された「気楽に、楽しく参加できる」をキーワードに、より突っ込んだ意見が交わされました。

令和元年度は、10月2、3の両日に新潟市で、「新潟開港150年」をテーマに行いました。参加者は20人。新潟港の歴史などについての講演を聴いた後、新潟市歴史博物館「みなとびあ」で水の恵みを生かして発展してきた新潟をジオラマや資料で振り返り、信濃川ウォーターシャトルに乗船し、川面から見上げる万代橋など30分ほどのクルーズを楽しみました。

2日目、福島潟を一望できるビュー福島潟を見学、豊かな自然とそこから生まれた潟と人との関わりや文化を体験しました。

新潟県社会福祉協議会賛助会員入会のお願い

新潟県社会福祉協議会は、戦後間もない昭和27年に設立され、以来、行政や福祉団体等との連携のもと、「共に生き共につくる福祉社会」を目指して、半世紀余りにわたってその時代のニーズに沿った地域福祉の推進に大きな役割を担ってまいりました。

近年は、急速に進む少子高齢化などに伴い、家族や地域社会の支え合い機能が低下する中で、公的サービスだけでは対応できないさまざまな生活課題が増加しており、雇用の悪化や度重なる自然災害により、新たな福祉課題が顕在化しています。

当協議会がこれらの課題に柔軟に対応していくためには、従来の福祉団体を中心とした会員構成に加えて、企業・団体の皆さまから県民への啓発活動など様々な応援をいただき、ネットワークを拡大することが必要不可欠と考えております。

つきましては、ぜひとも皆さまから賛助会員としてご加入いただき、当協議会の新たなパートナーとして、福祉施策への適切なお助言とご支援を賜りたいと考えております。

賛助会費は、本会が取り組んでおります地域福祉向上のための広報・啓発事業などさまざまな事業に充てることとしております。当協議会の社会的な使命と地域福祉の一層の推進へ向けた取組等、趣旨をおくみとりいただき、ご理解とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

■ 新潟県社会福祉協議会の主な事業内容

① 災害時の被災者支援活動

災害時に要配慮者等に対し福祉的支援を行うとともに、災害ボランティア活動を支援しています。

② 地域福祉の推進

地域に根ざした様々な地域福祉活動等の支援を行うとともに、県民の福祉に対する理解促進を図るため、「福祉・介護・健康フェア」などを実施しています。

③ 生活支援・相談

生活に困っている方や判断能力が不十分な方の生活安定を図るため、相談、資金貸付、財産管理の支援などを行っています。

④ 福祉従事者の人材確保・養成

福祉の資格・仕事に関する相談、情報提供のほか、福祉従事者のキャリア、専門分野に応じた研修などを実施しています。

⑤ 高齢者・障害者の社会参加

シニアカレッジ新潟やにいがたねんりんピックの実施などにより、高齢者の生きがいと健康づくりを促進しています。また、福祉施設で作った製品を紹介・販売し、障害者の生きがいや社会参加を支援しています。

■ 賛助会員になると

- ① 県内の福祉の動向などを掲載した本会の機関誌「福祉にいがた」を毎月お届けいたします。
- ② 賛助会員様のご名称を毎年「福祉にいがた」や新潟県民福祉大会の配布資料に掲載するとともに、取り組まれている社会貢献事業を取材し、「福祉にいがた」に掲載させていただきます。（「福祉にいがた」発行部数1万5,000部）
- ③ 本会が主催する新潟県民福祉大会などの行事に参加することができます。

■ 賛助会費は 年会費 1口 10,000円～

令和元年度 新潟県社会福祉協議会 賛助会員の皆様

本会の活動の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様から会費をお寄せいただきました。

本会が取り組んでおります地域福祉向上のための広報、啓発事業などさまざまな事業に活用させていただきます。今後とも、ご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【企業・団体等】(敬称略)	【企業・団体等】(敬称略)
株式会社新潟日報社	株式会社植木組
株式会社新潟放送	新潟冷蔵株式会社
株式会社NST新潟総合テレビ	株式会社福田組
株式会社テレビ新潟放送網	アクシアル リテイリング株式会社
株式会社新潟テレビ21	株式会社ブルボン
株式会社エフエムラジオ新潟	株式会社BSNアイネット
新潟県民エフエム放送株式会社	株式会社電通東日本新潟支社
株式会社第四銀行	ホリカフーズ株式会社
株式会社北越銀行	株式会社新潟博報堂
株式会社大光銀行	株式会社ホテル新潟
新潟県信用農業協同組合連合会	株式会社アークベル
新潟県信用組合	第一建設工業株式会社
新潟信用金庫	公益財団法人新潟県女性財団
三条信用金庫	社会福祉法人恩賜財団済生会支部新潟県済生会
新潟県労働金庫	新潟日報会
株式会社新潟日報サービスネット	一般社団法人新潟県健康管理協会
株式会社新潟日報事業社	一般社団法人生命保険協会 新潟県協会
東北電力株式会社新潟支店	高田西城病院
セコム上信越株式会社	新潟県行政書士会
新潟総合警備保障株式会社	新潟県火災共済協同組合
北陸ガス株式会社	学校法人新潟総合学園
亀田製菓株式会社	学校法人新潟平成学院
岩塚製菓株式会社	学校法人新潟青陵学園
中越運送株式会社	学校法人加茂暁星学園
株式会社新潟グランドホテル	学校法人敬和学園
株式会社コロナ	学校法人新潟科学技術学園
株式会社本間組	公立学校法人新潟県立看護大学

※企業・団体の賛助会員のみ掲載。

令和2年度 賛助会員を募集しています

◇お問い合わせ・お申し込みは

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 総務管理課
〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階
電話 025(281)5520 Fax 025(281)5528
ホームページ <http://www.fukushiniigata.or.jp/>





第31回ねんりんピック富山
2018総合開会式・横断幕掲げ
県選手団入場行進

第32回ねんりんピック紀の国わかやま2019
総合開会式・県選手団入場行進

今年も岐阜で熱戦と交流深め

全国のパワーあふれる約1万人のシニアが集う、第33回全国健康福祉祭りふ大会（ねんりんピック岐阜2020）が、10月31日（土）から11月3日（火）まで、岐阜県内24市町村で開催されます。「清流に輝けひろがれ長寿の輪」をスローガンに、大会史上最多の31種目で熱い闘いを繰り広げます。

大会は、厚生労働省創立50周年を記念し、1988（昭和63）年に兵庫県で第1回大会が開催されました。以後、スポーツや文化交流などを通じ、触れ合いと活力ある長寿社会づくりに寄与することを目的に毎年行われ、地域や世代を超えた交流の輪を広げてい

ます。新潟県からは毎年、新潟県社会福祉協議会常務理事・事務局長を団長とする100人を超える選手団を派遣しています。

今回のぎふ大会は、10月31日の岐阜市・岐阜メモリアルセンター長良川競技場での総合開会式で開幕。会期中には、交流大会とは別に、岐阜県独自で行うレクリエーション種目を中心としたポッチャや車椅子レクダンスなど32種目のふれあ

大会に出場する選手の選考会を兼ねた「第25回にいがたねんりんピック」（新潟県社会福祉協議会主催、新潟県・新潟市など共催）は、5月から県内各地で行われます。今年予定されて

いレク大会（年齢に関係なく気軽に参加できる）をはじめ、ふれあいニュースポーツの紹介、健康づくり教室、健康フェアを行うほか、60歳以上の人が創作した作品を展示する美術展

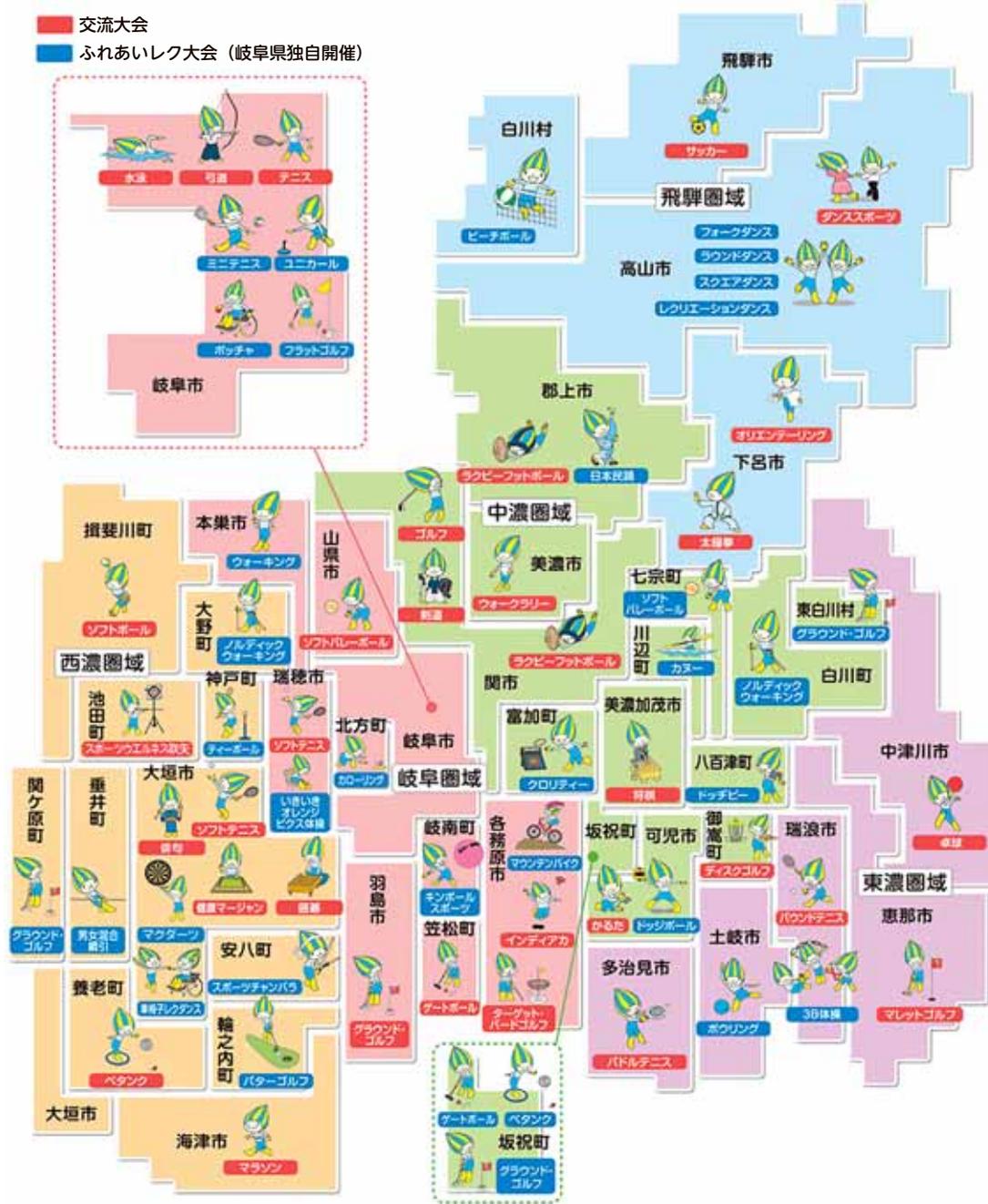
（日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門）や高齢者向けファッションショー、音楽文化祭、地域文化伝承館、健康福祉機器展などが開催される計画で、準備が進められています。

出場切符懸け5月から予選

いる種目は卓球など13競技です。出場資格は60歳以上です。

剣道と太極拳は昨年10月に、それぞれ一足早く出場選手が決まっています。

ねんりんピック岐阜卓競技会場一覽



令和2年度第25回にいがたねんりんピック実施競技一覽(予定)

種目	開催日	会場
テニス	5月4日(月)	新潟市庭球場
ソフトボール	5月9日(土)	新発田市下高関運動公園
ダンススポーツ	5月10日(日)	新潟市鳥屋野総合体育館
ゴルフ	5月15日(金)	越後ゴルフ倶楽部
弓道	5月17日(日)	彌彦神社弓道場
ソフトバレーボール	5月24日(日)	新潟市西総合スポーツセンター

種目	開催日	会場
ペタンク	5月31日(日)	燕市サンスポーツランド分水
卓球	5月31日(日)	燕市吉田総合体育館
ソフトテニス	5月31日(日)	五泉市栗島テニスコート
ゲートボール	5月下旬予定	上越市内
バウンドテニス	6月予定	魚沼市内
剣道	10月4日(日)	新潟市新津武道館
太極拳	10月予定	新潟市西総合スポーツセンター

パワーあふれるシニアが集う「ねんりんピック岐阜2020（全国健康福祉祭り大会）」。新潟県選手団の活躍が期待されますが、近年では、太極拳（秋田大会）と卓球（富山大会）が見事優勝の栄冠を手にしています。3年間の熱闘と交流の軌跡を振り返ります。

秋田では太極拳優勝 今年の県選手団の活躍期待

【秋田大会】

2017年9月9～12日

秋田市のCNAアリーナ
★あきたの太極拳会場は、
大きな歓声と拍手に包まれ



太極拳で頂点に立ったミュージズの演舞（秋田大会）

ました。本県チーム「ミュージズ」が集団演舞を終え、9・26の高得点を挙げた瞬間でした。そのまま59チームの頂点に。チーム名そのままに、6人の深紅の上着に身を包んだ女神の心一つにした演舞が高く評価されました。ミュージズは長岡市を中心としたチーム。大会後の11月28日には、県庁に当時の米山隆一知事を訪問、優勝の喜びを報告しました。



大会は、秋田市・県立中央公園県営陸上競技場での総合開会式を皮切りに、県内17市町村で卓球など26種目の競技を展開。本県選手団115人は、16種目にエントリー、最高齢はマラソ



秋田まごころKIDSと楽しく交流（秋田大会）

ン5キロに出場、完走した87歳の男性でした。

大会初日は開始直前の強い雨風で開始が遅れる競技もありました。選手は持つ力を出し切るとともに、県花チューリップの球根を対戦相手に手渡し喜ばれま



張り詰めた空気の弓道会場（秋田大会）

した。同宿の対戦相手と、夕食時にビールを酌み交わして盛り上がったチームもありました。

「竿燈祭り」も再現された総合開会式前には、秋田市立雄和小学校4年生の秋田まごころKIDS8人が、本県選手団に応援の横断幕を手渡し激励しました。

太極拳以外の成績は、ソフトバレーボールで「スターズ長岡」が予選1位グループ第5ブロック準優勝、卓球とソフトテニスの「新潟県」と、ゲートボールの「津南」がベスト8で優秀賞を受賞し、ゴルフ個人



他県チームと交流を深めたバドミントン（秋田大会）

で7位と健闘。また、剣道の「新潟県」がベスト16、マラソンで2人が各優秀賞に輝きました。

【富山大会】

2018年11月3～6日

新潟のシニアパワーを十二分に發揮し、卓球で優勝の栄誉を手中にしました。その本県チームは、柏崎市の選手を中心とした7人。柏崎市で合同練習を行い大会に臨みました。「一丸となって戦った成果」と監督は喜びを表します。決勝トーナメントでは、兵庫県、浜松市、北海道を下し優勝を勝ち取りました。2連覇の愛知県を破った北海道に

競り勝ったことが大きかったそうです。

◇ 大会は、爽やかな青空が広がった富山市の県総合運動公園陸上競技場で行われた総合開会式を皮切りに、県内15市町村で27種目の競技が展開。本県選手団108人は16種目に出場しました。最高齢は将棋の対局に挑んだ85歳の男性です。

総合開会式の入場行進では、「おいしいお米と地酒が自慢の隣県から参りました」と恒例のお国自慢が競



熱戦を繰り広げたソフトテニス(富山大会)



先を読む力も必要なゲートボール(富山大会)

技場に響く中、きときと夢KIDSの富山市立堀川南小学校6年生9人と一緒にメインスタンドに向かって

ユキツバキの花を振り、新潟の元気をアピールしました。



交流も深めた将棋の対局(富山大会)

開会式の後には、歌人・大伴家持が富山の自然や人々の営みを詠んだ「越中万葉」の世界がグラウンドいっぱいに展開されました。

競技が始まった4日は、曇り空で時折雨が落ちてくる天候でしたが、各会場では気迫のこもった熱戦が繰り広げられました。成績は、卓球の優勝を筆頭に、ソフトバレーボールで「杵柄SSD」が2位グループ1位、将棋では個人戦3位、マラソンは5人全員が完走。水泳とグラウンド・ゴルフが初出場し健闘しました。

【和歌山大会

2019年11月9～12日

各競技で粘り強く、力いっぱい頑張った本県選手団。マラソン男子70歳未満



各県・市旗に囲まれ力強く選手宣誓(和歌山大会)



新潟ユニゾンプラザで行われた、和歌山大会へ向けた説明会

10キロで3位に輝き、弓道はベスト16と健闘しました。

◇ 大会は、和歌山市の紀三井寺公園陸上競技場で開かれた総合開会式を皮切りに、県内21市町村で27種目の競技が展開。本県選手102人は14種目に参加、年代や地域を超えて競い合い、交流の花を咲かせました。

このほかの成績は、卓球とソフトテニスで優秀賞、マラソン男子70歳未満10キロ5位、同男子70歳以上5キロ6位、グラウンドゴルフ女子の部で優秀賞と健闘しました。

総合開会式前日の8日には、和歌山市内の宿泊先で結団式が行われ、そろいのユニホームに身を包んだ選手102人が参加しました。激励に応じて、選手代表は「粘り強く全力でプレーすることを誓います」と力強く決意表明しました。



歌人・大伴家持が詠んだ「越中万葉」のとやまの自然や人々の営み表現したパフォーマンス(富山大会)

ねんりんピック
今年も岐阜

各会場の開会式典メモリアル

4章からなる「実り豊かな秋田の四季」で秋田の歴史や文化を華やかに表現(秋田大会)



夏の風物詩「竿燈祭り」も登場、その妙技にスタンドから大きな拍手(秋田大会)



「越中万葉」の世界を創作ダンスや集団演舞で表現(富山大会)



ねんりん世代の夢と人生を四季折々の歌でつなく夢物語「夢と人生の賛歌」。出身の坂本冬美も熱唱(和歌山大会)

ご意見ご感想お寄せください

「福祉にいがた オアシス21」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら、右記までお寄せください。

- ◆〒950-8575
新潟市中央区上所2丁目2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
新潟県社会福祉協議会企画広報課
- ◆ファクス 025-281-5528
- ◆Eメール oasisu@fukushiniigata.or.jp

福祉にいがた

オアシス21

特別号 令和2年3月発行

発行・編集 社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
制作 島津印刷株式会社

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2-2 (新潟ユニゾンプラザ3階) TEL.025 (285) 1400
〒957-0000 新発田市富塚1419 TEL.0254 (27) 2101 ISSN 0917-8236